

第4学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題 (重点項目)	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを分かりやすく文章に書き表すことができるようにする。 ○児童が互いの考えの相違点や共通点を考えながら友達の意見に耳を傾けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組み立てメモを活用するなど構成を意識して文章を書かせるようにする。また、児童同士でお互いの文章のよいところを価値付けできるように見合う時間を取り入れる。 ・話し合う前に相違点を明確にしたり、友達の意見に対する感想を書かせたりすることで、友達の意見に耳を傾けさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組立てメモを基に、「初め・中・終わり」の構成を意識して文章を書ける児童が増えた。 ○児童同士で考えを交流する活動を多く取り入れたことで、相違点や共通点を意識して聞く力が付いた。 ▲表現力を高めるために、文章を推敲する力をさらに伸ばす必要がある。
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の様子や絵地図に示された情報を読み取り、その特色を考察する力を伸ばしていく。 ○資料を活用してまとめる技能を身に付けさせていく。 ○主体的に、社会的事象について解決する力や判断する力を伸ばしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの東京都や地図帳などの資料の活用を多くし、地域の特色を理解させる。 ・調べ学習を取り入れ、調べたことや考えたことを自分の言葉で表現、発表する機会を増やす。 ・学習問題を立てたり、様々な資料を提示したりすることで、興味をもたせ、主体的に学習に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちの東京都や地図帳などの資料を活用したことで、国土の特徴や地域の特色の理解を深めることができた。 ○単元の終わりや社会科見学の事後学習で、ポスター等にまとめたことで、児童が調べたことや学んだことを自分の言葉で表現することができた。 ▲多くの児童が、調べ学習に意欲的に取り組んでいた。今後は、資料から自分が必要な情報を収集する力をさらに伸ばす必要がある。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本的な内容の定着を図り、学習内容の理解を深められるようにする。 ○道具を正しく使い、表や図を正確に作図する力を伸ばしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の習熟度に応じて具体物を操作したり、言葉や式、図などを用いたりして学習内容の定着を図る。また、各クラスで連携を取りながら習熟度別学習を実践する。 ・具体物を用いて操作の仕方を分かりやすく示す。また、道具の使い方を繰り返し練習させたり、習熟問題に多く取り組ませたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の考えが書かれたノートを紹介したことで、自分の考えを言葉や式、図などを使って分かりやすく説明する力が伸びてきた。 ▲動画や書画カメラを用いたことで、分度器やコンパス、三角定規等の使い方を身に付けることができた。今後、より正確に作図する力を伸ばす必要がある。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象の変化に着目し、変化とそれに関わる要因とを関係付けながら調べるようにする。 ○観察・実験や自然体験、科学的な体験を取り入れ、科学的な見方や考え方を育てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入を工夫することで進んで予想を立てたり、単元計画を工夫することで既習内容を生かして学習に取り組んだりできるようにする。 ・体験をさせることで、興味、関心を高め、主体的に学習に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入内容や実験内容を吟味することで、児童が意欲的に学習課題を見付けたり、単元の学習に取り組んだりすることができた。 ▲体験活動を重視したが、自然環境への興味関心や科学的に探究する態度をさらに育てる必要がある。

<p>体 育</p>	<p>○それぞれの運動領域で、基本的な動きや技能を身に付けられるようにする。</p> <p>○自己の運動の課題を明確にし、課題解決のための方法や活動を工夫できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動で主運動につながる動きを取り入れる。また、基本的な動きが身に付く場の設定をしたり、補助具を活用したりする。 学習のめあてを明確にし、児童が自分なりの課題を見付けて授業に取り組めるようにする。また、学習の振り返りでは学習カードを活用して、児童が成果と課題を実感できるようにする。 	<p>○学習カード等で基本的な動きを提示しながら学習したことで、基本的な動きや技能が身に付いてきた。</p> <p>○児童同士がお互いの動きを見合う場面を取り入れたことで、友達と運動することの楽しさを感じる児童が多かった。</p> <p>▲チーム競技の経験が不足しており、チームの課題を解決する学習活動を工夫する必要がある。</p>
<p>総 合</p>	<p>○自ら課題を見付け、よりよく課題を解決する力を伸ばしていく。</p> <p>○防災学習では、体験を取り入れる。また、学習したことを生活と関連させ、生かせるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しをもたせ、計画的に取り組ませる。ワークシートを活用して、児童が過程や成果を振り返ることができるようにする。 自分だったらどうするかを考える活動を取り入れ、体験を通して、学びが深まるようにする。 	<p>○学習内容を明確にして、見通しをもたせたことで、自ら課題を見付け、自分なりに工夫してワークシートやスライドにまとめることができた。</p> <p>▲探究的な学習に取り組むために、体験的な学習の機会をさらに増やしていく必要がある。</p>
<p>道 徳</p>	<p>○自分自身と結び付けて道徳的価値を多面的・多角的に考えられるようにする。</p> <p>○多様な視点から話し合い、考え、議論する道徳の充実を図り、自己のよりよい生き方を考えさせていくようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 書く活動や話し合う活動など、自己の心情、判断等を表現する機会を充実させ、今後の生活の改善まで考えさせる。 一人一人の考え方や感じ方を大切にしたい授業の展開を工夫する。 	<p>○導入や振り返りでは、自分のことと置き換えて考えさせることで、多面的・多角的に考える力が伸びた。</p> <p>▲自らの生活や考えを見直すことで、学んだことを自分の生活にさらに生かしていけるようにする必要がある。</p>
<p>外 国 語 活 動</p>	<p>○外国語に慣れ親しむ機会を多くし、外国語を用いたコミュニケーション能力を育てるようにする。</p> <p>○外国の言語や文化について理解を深めることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や基本的な表現を聞いたり、話したりして、互いに自分の考えや気持ちを伝え合う活動を取り入れる。 日本と外国の生活や行事、習慣などの違いについて視聴覚教材を通して知り、多様な見方や考え方があることに気付かせるようにする。 	<p>○ALT との連携やデジタル教材の活用によって、日本と他国との生活や習慣の違いに気付き、英語に慣れ親しむことができた。</p> <p>▲自分の気持ちを伝えたり、相手の話を聞いたりする機会を増やし、外国語を用いて積極的にコミュニケーションする態度をさらに養う必要がある。</p>